

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 50 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

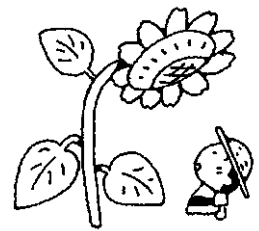
発行日：2004年8月5日(木)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(50)

脾 Ⅲ



暑いですね。夏ばてされてませんか。水辺や池に咲くハスやスイレンは涼しげで、どこか神秘的です。水の森(草津)、竜安寺(京都)、勧修寺(京都)、根来寺(和歌山)、後樂園(岡山)などの美しい水面が思い出されます。もう一ヶ月もすると、秋の七草で、西洋のカスミソウに通ずるところがある萩の季節になります。正岡子規の「ほろほろと石にこぼれぬ萩の露」と詠んだ東光院萩の寺(大阪)の白い萩は寺全体を埋め尽くします。横浜で開催された日本東洋医学会の合間に、鎌倉の長谷寺の紫陽花に会うことができ、散歩道の両側に咲き乱れた数千本の紫陽花に感動しました。

海の日、京大芝蘭会館で漢方医の会があり、有意義な時を過ごしてきました。今月は脾についてお話しします。



すがうら 管浦 (北琵琶湖の漁村)

律神経機能)の働きも低下し、冷え性が起こります。

では、実例を挙げましょう。

三九歳男性、夏ばて、急に暑くなり、体がだるく、頭もボーッとすると言われて来院。顔色は良好、口の渇きが強く、眼瞼のむくみ、手足のむくみ・しびれ・ほてり・だるさのため仕事ができない。腹は柔らかく、心下部、季肋部、臍傍に軽い抵抗、臍上下に動悸を触れ、皮膚はやや力サカサしていた。脈は弱く、やや速い。舌は淡紅色、薄い乾黄苔。そこで、清暑益氣湯+紅参を処方。二週間後、体力が回復し、普通の生活に戻れた。更に二週間服用して廃業。

九二歳女性、夏ばて、急に暑くなり水分、食事が摂れなくなった。顔は青白く、手足が冷たい。腹は軟弱、心下部に軽い抵抗、臍上下に動悸を触れ、皮膚は力サカサ。脈は弱く、遅い。舌は淡白色、テカテカに光っている。点滴を三日続け、その後、人參湯+附子を処方。二週間後、通常の食事と水分が取れるようになった。二年後の現在、人參湯を継続中。

三〇歳女性、妊娠中毒症、妊





娠三〇週より下肢にむくみ、口渇、尿量低下。顔色は両頬に赤み、下腿にむくみ、口の渇き、尿量の低下、お腹の弾力性は中等度、心下部に抵抗。脈は緊張して速い。舌は鮮紅色、薄い乾黄苔。胎児はやや大きい。そこで、五苓散を処方。一ヶ月後、上肢や顔もむくみ始め、蛋白尿が出現。そこで、五苓散+防己黄耆湯を処方。二週間後、むくみが増強し、防己茯苓湯+四苓湯+釣藤鈎を処方。尿量が増え、むくみはやや減り始め、一週間後、経膈分娩で三六〇〇gの子供を無事に出産した。

二七歳女性、**妊娠中毒症**、妊娠三三週より上下肢と顔面にむくみ、口渇、尿量低下。顔は赤い。お腹の弾力性は良好、心下部と季肋部に抵抗。脈は浮いて速い。舌は紅色、乾黄苔。胎児は大きい。そこで柴苓湯を処方。一ヶ月後、上下肢と顔のむくみが増強、血圧上昇（一六〇／九〇）、蛋白尿（++）。そこで、柴苓湯+釣藤鈎+天麻を処方。一週間後、更に、血圧上昇（二一〇／一二〇）、むくみ増強、蛋白尿（++++）のため入院。降圧剤、利尿剤、釣藤散+天麻を処方し、絶対安静を指示。二日後（三七週〇日）、むくみが減り、血圧低下（一三〇／九〇）、蛋白尿（++）となり、緊急帝王切開で、三七〇〇gの子供を無事に出産した。分娩後六ヶ月、釣藤散を継続中。

二三歳女性、**冷え性**、腰の冷えと痛み、手足の冷え、頭痛を訴えて来院。顔はやや赤く、お腹は柔らかく、心下部、両側臍傍に抵抗。脈は弱く、沈んで、遅い。舌は淡紅色、薄い白苔。そこで、五積散を処方。二週間後、頭痛、腰の冷えと痛み、手足の冷えなどが少し改善。一ヶ月後、症状はほぼ消失。一年後、強い冷房の中でなければ症状は出なくなった。

外来、病棟、在宅の仕事に東洋医学と西洋医学の両方を役立てようと努力しています。これからもどちらにも偏らない医院を目指すつもりです。よろしくお願ひします。次回は、**子宮筋腫**についてです。



「院長」



夏 ば て

胃腸の弱りの現われです。もともと、胃腸（脾）の弱い方、イライラする方、上半身に比べ下半身の弱い方、暑さや湿気で食欲、発汗、排尿、排便が不調になり、疲れ、だるさ、むくみ、意欲低下、不眠の方の体調、気分を改善するのをお手伝いできると思います。暑い夏を乗り切ってください。



妊 娠 中 毒 症

妊娠中、“むくみ”“高血圧”“蛋白尿”が現れる状態を言います。糖分、脂肪分、塩分の摂り過ぎが原因のことが多く、もともと、体重や脂肪の多い方は要注意です。異常な食欲、咽の渴きを感じたら要注意です。お産の目標体重を守ってください（目標体重は一人一人異なります）。



冷 え 性

手・足・背など体の一部の冷え、冷えのぼせ（足は冷え、顔はのぼせる）、全身の冷えなどがあり、漢方医学では、瘀血（循環不全）、気虚（気力低下）、水毒（体液の偏在）、血虚（血液不足）、脾虚（胃腸虚弱）、陰証（新陳代謝の低下）などが原因と考えています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒**タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器（無料）をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・）などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定（4～6ヶ月ごと）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査（尿）も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き**処置の欄**にチェックして下さい。

皮内針、針管付き鍼

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。
肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク ・メシマコブ
- ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に（月に2～72回）訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

外来休診日

外来診療は、8月14日（土）～16日（月）の間、お休みします。お産や急患はこのかぎりではありません。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、**居宅療養のお手伝いをする制度**です。**費用は1割の負担**になります。**介護保険に制約されません。**

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◇更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◇不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◇助産師相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：8月6日、9月3日(金)、10月13日(水)
 11月5日(金)、12月8日(水)、1月7日(金)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：8月18日、9月8日、22日、10月6日、20日
 11月10日、24日、12月15日(水)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

「オレンジのチーズケーキ」(Cheese cake al'Orange)、
 さわやかなオレンジとエレガントな酸味のクリームが、軽いスポンジと調和した、
 なめらかな味わいのケーキです。「ブーシェ」(Bouchee)、「ひとかじり」という
 意味の小さな焼き菓子です。コロんと転がりそうな姿がかわいいアーモンド風味
 豊かなお菓子です。皆様に少しでも喜んでいただこうと、低カロリーでも味わいのある、
 美味しいお菓子をつくろうと研究しています。どうぞ、ご賞味ください。



腹 診

漢方薬を処方するために必要な診察方法です。お腹は人の過去、現在、未来を
 語ってくれます。心の苦しみや不満(心の葛藤)、性格や体質、気血水の鬱滞、
 病気に対する力(反応度)、体の調和度(バランス度)などを教えてくれます。
 頭から足までの皮膚、筋肉、関節、神経、内臓の状態を“お腹”で診察します。
 足を真っ直ぐに伸ばし、体の力を抜いて診察を受けてください。



分娩予約

妊娠34週までに受付で予約して下さい。
 ご予約には分娩予約カードと予約金5万円が
 必要です。
 予約された方に、母と子のてびきをお渡しします。

助産師相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
 婦人科 産科 漢方科 友達に教える
 外来診療のご案内などを掲載 (i-mode対応)

パソコンホームページのリニューアル (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(当院の漢方治療、症例)
 産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
 老人医療のページ(在宅訪問診療、予防接種)
 当院の施設案内、当院への交通(車、JR)
 周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
 メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。